

やれること



むげんだい





やりたいことが、あふれてくる。  
そんな人であってほしい。

ご利用者の数だけ、サービスがあります。その可能性は無限大です。  
お一人お一人に合ったサービスを自由に考え、提供してください。

高坂福祉会は、職員の「やりたい」を歓迎します。応援します。

無限大の可能性の中で、あなたの「やりたい」を実現してください。

チームワークの良さも高坂福祉会の特徴です。周りの職員たちも協力します。

どんどん「やりたい」を実現して、成長して行ってください。

制度・環境が整っている高坂福祉会なら、成長の可能性も無限大です。

個人として、チームとして、無限大の可能性を追求する。

無限の輪がつながり、ご利用者、ご家族の皆様、地域の皆様に幸せをもたらす。

それを実践する一人として、活躍いただくことを期待します。



## ご利用者、ご家族、職員、「みんなが幸せ」に。 高坂福祉会は、職員の「やりたい」を応援します。

ご利用者、ご家族の皆様により良いサービスを提供するためには、働く職員も幸せでなければならないと考えています。1987年の設立以来、職員も楽しく、意欲的に仕事に臨めるような環境づくりにも積極的に取り組んできました。高坂福祉会には、年次に関係なくのびのびと働くことができ、職員一人一人が「やりたい」を実現できる環境があります。そのためか、業界では珍しく平均勤続年数は10年以上。これからも現場の意見を大切にしながら、より良い制度・環境を整えていきます。

### 教育体制

多彩な研修プログラムで、知識やスキルが着実に身につきます。

Education system

#### 新入職員向け研修

未経験の方ももちろん、経験者の方も含めて、新入職員全員を対象に基礎的な研修を行います。

- 先輩職員による技術習得研修
- 福祉機器などの取り扱い研修
- 法令順守に関する研修
- 諸規定に関連する研修
- 安全衛生に関する研修
- 接遇(ビジネスマナー)研修

#### 全職員向け研修

外部講師を招いた研修等で、職員の継続的な成長をバックアップ。外部講師として活躍している職員も多数在籍しています。

- リスクマネジメント研修
- メンタルヘルス研修
- 階層別グループ研修
- 法話・道徳研修

### 職場環境・福利厚生

自分らしく、のびのびと働ける環境を用意しています。

Environment / Welfare

#### 職員食堂

高坂苑にあるビュッフェスタイルの食堂は職員たちに大人気。豊富なメニューの中から、好きなものを選びながら選ぶことができます。お弁当を持参するのもOK。会話を楽しんだり、一人でのんびりテレビを観たり、思い思いにくつろげるリラックススペースです。

#### 職員親睦旅行

年に一回、国内日帰り旅行へ交代で出かけます。観光、郷土料理、レジャーなど、仕事のことを忘れて満喫する貴重な機会。これまでに、京都、大阪、沖縄などへ行きました。

#### 歓送迎会

新人の歓迎や退職する職員方に感謝の気持ちを伝えています。

#### 資格取得支援制度

資格取得を全面的に支援します。例えば、介護福祉士の資格取得を目指す職員には、短期集中試験対策講座の開催や、出願から各種助成金申請のサポート等を行っています。

#### その他、福利厚生、 人事考課制度など

会員リゾートホテル特典、有給休暇取得率80%以上、年間賞与3.8ヶ月の実績、各種手当(資格、扶養、役職、夜勤等)の支給など、充実の福利厚生で職員をバックアップ。また、業務の効率化やスムーズな情報共有を目的としたタブレットの使用や、記録物の電子化などにより、職員にかかる負担の軽減にも取り組んでいます。介護職員の腰痛予防にも努め、ノーリフティングポリシーの研修にも積極的に参加。現場ではスライディングボードも活用しています。さらには、社会保険労務士との連携による人事考課制度も導入。一人一人の頑張りを正当に評価します。



美味しくリーズナブルと人気の職員食堂



高坂苑の創立30周年には祝賀会を開催



外部講師を招いた研修も実施しています



タブレットの活用などで業務効率化を実現

# やれること



# 1

## むげんだい

恒例の人気企画に変わる

新企画を考案。

春祭りの実行委員長として

果敢にチャレンジ。

Profile

鈴木 美範

Minori Suzuki

扶桑苑 介護職員  
2016年入職



**高** 坂福祉会では、ご利用者のご家族にも参加いただく行事を定期的に開催しています。中でも「春祭り」「夏祭り」「秋祭り」は、施設の3大行事とも言えるイベント。入職4年目になり、「春祭り」の実行委員長という大役を任されました。行事の運営も、10名近い実行委員を束ねるのも初めての経験。しかも、当日は春なのに猛暑日で、皆様の体調も考えて屋内で開催することに。例年のように青空の下で解放感に浸りながらお祭りを楽しむこともできません。そんな状況でしたが、仲間にも助けられて無事に運営を進めることができました。前年度に委員長を務めた先輩がアドバイザーとして最初からサポートしてくれました。それに、もともと高坂福祉会はチーム

ワークが抜群。実行委員の人たちとの連携もうまくいきました。

委員長としてこだわったことのひとつが「新入職員のアトラクション」。新人は鳴子踊りを披露することが慣例となっていました。でも、「毎年同じでいいのかな？今年趣向を変えてみよう」と思ったんです。新人さんたちにも意見を聞き、ご利用者やご家族の皆様楽しんでいただけることも考慮しながら、新しい企画を考えていきました。考えた末、若者に人気のあるバンドの曲を使ったダンスを披露することに。例年とはまったく違う内容でしたが、皆様が楽しんでくれたんです。子どもたちも一緒に踊ってくれました。



以前、パート職員から「スプーンが使いづらそうにしているご利用者がいる」との声を聞きました。それを受けて、ご利用者が使いやすい素材と形状に変更するよう私から提案をして、採用されたことがあります。自分が「やりたい」と思ったことを、自分で考えて実行していく。「こうすべき」と思うことがあれば積極的に提案をする。それが、ご利用者やご家族の皆様喜びや笑顔につながる。こうした醍醐味は、高坂福祉会じゃないと味わえないと思います。



# やれること ∞ むげんだい

# 2

ご利用者の事故を  
未然に防ぎたい。  
全職員の意識を  
向上させるため、  
研修会を自ら企画。

Profile

日比野 充裕

Mitsuhiro Hibino

扶桑苑 介護職員  
2009年入職



**私** たち職員は、自分が担当するご利用者一人一人に寄り添い、それぞれに合ったケアプランを立てます。例えば、ある男性ご利用者の事例。その方の奥様も一緒に入所されていたんですが、奥様が亡くなられてしまったんです。悲しい出来事を機に、ご利用者の認知症の症状が悪化したんですね。「何とかしたい！」と考え、ご家族を連れてお墓参りをする計画を立てました。ご利用者は奥様の写真を持ってお墓へ。結果、少し回復をされ、ご家族の皆様にも喜んでいただくことができました。

ご利用者一人一人への介護と同じくらい、私が力を入れているのが「事故防止委員会」での活動です。「事故防止委員会」は、ご利用者の事故を未然に防ぐ施策を実行する社内プロジェクト。私は委員長を務めています。定例会議での継続的な啓蒙や、新入職員向けの「危険予測トレーニング」の実施など、全職員の事故防止へ対する意識の向上に取り組んでいます。最近では、ご利用者の状況が確認できる「ナースコール」「センサーコール」に関する研修会を自ら企画して開催しました。

委員会のメンバーは9人。週に一回はすべての居室を回り、改善ポイントがないかどうか細かくチェック。「こんな設備を導入したら？」

「この角にはクッション状のものを貼っておいたほうがいい」など、全員で意見交換をしながら進めていきます。委員長の私が不在の日も、メンバーのみんなが主体的に取り組んでくれるので助かっています。職員同士、お互いを尊重し合う関係性が築かれているのでチームで仕事を進めやすいです。その他、人間関係の良さを感じる点としては、上司の温かさに救われていることも挙げられます。上司とはプライベートでもキャンプなどへ一緒に行く間柄。上司の期待に応えたいという気持ちも、仕事のモチベーションになっています。



# やれること ∞ むげんだい

# 3

30周年の  
プロジェクトに参加。  
主体者となって、  
職員の制服をガラリと刷新。

Profile

## 水野 志穂

Shiho Mizuno

高坂苑 介護職員  
2012年入職



**開** 苑30周年のとき、記念プロジェクトが発足。30周年を機に、若い職員たちで何かを企画・実行しようというものでした。そのメンバーの一人に選ばれたんです。私が取り組んだのは、制服の刷新。デザインがちょっと古いな……と思っていたんですね。でも、いざ始めてみると、思っていた以上に大変でした。まずはカタログを見て適正なものをチョイス。デザインだけではなく、機能性や着心地も大事です。見本を取り寄せて実際に試着をして、動きやすさや生地肌の肌触りなども確認していきました。そして、最も重視したのが、実際に新しい制服を着ることになる職員たちの意見です。みんなから意見をしっかりと聞き、その上で上司やプロジェクトメンバー

とも相談をしながら決めていきました。制服が変わったときは、本当に嬉しかったですね。みんなが新しい制服を着ている光景に感動しましたし、自分のアイデアが形になったことに達成感もありました。

今でも「これがやりたい」と思うことがあります。今、ご利用者とふれあう機会はたくさんありますが、その機会を増やしたいんです。例えば、毎週日曜日に一緒に行楽へ出かけたい。ご利用者にとって良い気分転換にもなりますから。他にもやれることは、まだまだあると考えています。ふれあう機会を増やして、ご利用者にもっと笑顔になっていただきたいと思っています。

もともと介護業界に強い興味があったわけではないですが、気がつけば長い期間、今の仕事を続けています。ご利用者からの「ありがとう」が、仕事を楽しく続けられる要因だと思っています。これからは資格取得にもチャレンジしていきたい。高坂福祉会は資格取得を支援してくれるので、もっともっとスキルを磨いて、今以上にご利用者から「ありがとう」と言われるようになりたいです。





# やれること ∞ むげんだい

4

行事の参加、  
食事介助から、  
配食サービスまで。  
管理栄養士の枠を超えた  
ご利用者とのふれあい。

Profile

福山 知里

Chisato Fukuyama

高坂苑 管理栄養士  
2016年入職



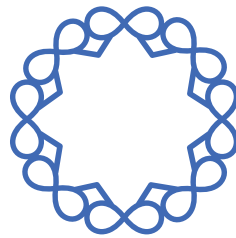
**業** 界の特徴として管理栄養士が施設の行事に参加することは難しいと聞きますが、私はほとんどの行事に関わっているような気がします。例えば、ある年の夏祭りでは流しそうめんを企画。ご利用者がそうめんを箸で取る介助を、私も介護職員と一緒に行いました。その他、屋台を出してみたらし団子を焼いたり、「移動かき氷」を全フロアで行ったり、花火やバーベキューのイベントにも参加したり等、管理栄養士の職域を超えてご利用者とのふれあいを楽しんでいます。管理栄養士として嬉しかったのはバイキングを実施したとき。ご利用者から「何が食べたい？」と事前調査をして、数々のお食事を用意しました。皆様に「おいしい、おいしい」と喜んでいただけたことは強く印象に残っています。

普段からご利用者のところへ足を運ぶ機会も多いです。ときには食事介助を行うこともありますし、ご利用者を連れて散歩に出かけることもあります。職域を超えた働き方ができるところは、高坂福祉会の大きな魅力でしょう。また、介護職員や看護職員といった多職種スタッフとの連携がスムーズな点も魅力の一つだと思います。プランを立てるときも「〇〇さん、最近食事の量はどう？」「自分で食べることはできている？」「どんな食べ方をしている？」など、介護職員と密にコミュニケーション。お互いに専門性を発揮しながら、チームで

働ける場所に楽しさとやりがいを感じています。

高坂福祉会では配食サービスも行っています。そのサービスにも管理栄養士として携わっているのですが、私自身が配達に何うこともあります。在宅のご利用者と接し、皆様の生活を知ることができる貴重な機会です。その機会を活用して、配食サービスを通して管理栄養士が実現できることの可能性を追求していきたいと考えています。





社会福祉法人  
高坂福祉会

社会福祉法人 高坂福祉会

〒468-0025 名古屋市天白区高坂町197-1

TEL 052-805-0100

<https://www.takasaka.info/>

採用WEBサイトもご覧ください

<https://www.takasaka.info/recruit/index.html>



[ 運営施設 ]

高坂苑 ————— 〒468-0025 名古屋市天白区高坂町197-1

扶桑苑 ————— 〒480-0101 愛知県丹羽郡扶桑町大字山那  
字番所下83-5

デイサービスセンター 大根 ————— 〒468-0024 名古屋市天白区大根町58

有料老人ホーム 寿シニアハウス 平針 ————— 〒468-0011 名古屋市天白区平針3-1503

[ 姉妹法人 ]

学校法人 上田学園

高坂幼稚園 ————— 〒468-0025 名古屋市天白区高坂町47-1

香久山幼稚園 ————— 〒470-0134 愛知県日進市香久山1-1701

高坂こども園 ————— 〒468-0025 名古屋市天白区高坂町74